

群馬大学大学院理工学府電子情報部門 教員公募

1. 職 名 助教
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府 電子情報部門（電子・機械類 電子情報通信プログラム）
4. 業務内容 研 究
 - ・光・量子エレクトロニクス、量子ビーム科学、有機エレクトロニクス、液晶応用デバイスなど、電気電子工学や応用物理学分野の研究開発
 - ・エレクトロメカニクス教育研究センター、数理データ科学教育研究センター等が推進するプロジェクト研究教 育
 - ・担当授業科目
（学部）電子・機械基礎実験、専門英語Ⅰ、学びのリテラシー等
その他、専門分野に関する教養教育科目を担当管理運営・社会貢献
 - ・理工学府の管理運営に関する業務
 - ・理工学府、エレクトロメカニクス教育研究センターが進める（社会貢献活動）への参画・協力
5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 5 年 4 月 1 日（以降のなるべく早い時期）
8. 専門分野 大分類：工学、総合理工
小分類：電気電子工学、応用物理学
9. 任 期 5 年
任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。
10. 応募資格 次のいずれも満たす者
（1）博士の学位を有する方、あるいは着任までに取得予定の方

- (2) 光・量子エレクトロニクス、量子ビーム科学、有機エレクトロニクス、液晶応用デバイスなど、電気電子工学や応用物理学の分野における優れた研究業績を有し、世界的レベルの研究を推進できる方
- (3) 国内外の研究組織や学内各種センターなどの組織的な研究体制を構築・活用し、メカニクス・エレクトロニクス・人工知能（AI）等の分野横断型連携や、地域産業構造のニーズを踏まえた産官学連携を積極的に推進できる方
- (4) エネルギー利用の効率化や超高齢化と人口減少に対する持続可能な社会実現を目指した電子・機械類の教育に熱意を有する方
- (5) 社会貢献業務、学部運営業務等に積極的に関われる方
- (6) 女性限定

11. 給与 年俸制適用 退職手当あり
 本学教職員就業規則及び2号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
 ほかに通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
 教職員就業規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
 2号年俸制適用教員給与規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf
12. 就業時間 8：30～17：15を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
 (1日7時間45分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12月29日～1月3日)
 年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙(ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置)
17. 応募締切 令和4年12月23日(金)必着
18. 提出書類 (1) 教員個人調書(本学所定様式)
 (2) 教育研究業績書(本学所定様式)
 (3) 最近10年間の科学研究費補助金等の受給状況(本学所定様式)

- (4) 査読付き学術論文10編以内の別刷りまたはコピー
- (5) これまでの研究概要(1,000字程度)
- (6) 教育、研究および地域貢献に関する抱負(1,000字程度)

19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目5-1
群馬大学理工学府電子情報部門 部門長 橋本 誠司
簡易書留にて「電子情報部門助教(光・量子分野)応募書類」と朱書きのう
え、郵送願います。
なお、提出書類は原則として返却いたしません。

20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接(これまでの研究と着任後の教育、研究計
画に関するプレゼンテーション)を実施
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担

21. 問い合わせ先 群馬大学理工学府電子情報部門 部門長 橋本 誠司
電話:0277-30-1741
e-mail:hashimotos(\$)\$gunma-u.ac.jp (\$)\$は@に置き換えてください

22. その他

- (1) 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。
- (2) 群馬大学は男女共同参画を推進しており、今回は女性を採用します。
なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
(リンク先: https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_links/)
- (3) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。
- (4) 適任者が得られない場合には、再度公募することがあります。